

令和2年度第3回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和2年8月18日（火）午前9時30分から10時50分

ところ：中央公民館2階 学習室4

1 出席者

小平市社会教育委員 10名
傍聴者 1名

2 内 容

<議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。

(1) 令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会（報告）

<事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

【地域学習支援課】

(1) 民法改正に伴う成人式の実施年齢の決定等について

【公民館】

(1) 小平市立公民館事業実績

【図書館】

(1) 令和元年度 小平市立図書館事業統計

<その他>

なし。

3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

<事務局報告>

○小平市立公民館事業実績

委 員 小平市の公民館は充実していて素晴らしい。地域づくり、まちづくりという観点においても公民館に期待したい。

委 員 保育の実績がない館がいくつか見受けられる。応募がなかったということではあると思うが、せっかくの子育て支援の事業の一つとしているため、積極的な取り組みが必要であると考えます。

事務局 講座の企画の結果として、保育付き講座がない分館はあったが、親子を対象とする講座が全くなかったわけではない。いま、子育て支援は重要な政策だと感じている。

委 員 公民館の移転や集会施設の使用料見直し等、新型コロナウイルスによって実施時期が動くのか、目途等も決まっていれば市民に知ってもらうような取組をしていただきたい。

事務局 所管の部署に申し伝えることとする。

委員 コロナの関係でボランティアを極力絞り、オンラインでできるものを行っているが、参加者がウェブで講座を行うことに慣れておらず、結構大変である。ウェブを活用することも啓発活動の一つとして捉えているため、講座の中でももう少し前向きに考えていただきたい。

事務局 オンライン講座については、来年度に向けた事業企画委員会の中で話題に出ている状況である。施設面、費用面等の関係もあるが、一つの選択肢として捉えている。

委員 各公民館が多岐にわたる講座を沢山開催しており、創意工夫や取組が素晴らしいと感じる。公民館の活性化にも繋がるのでそのまま継続していただきたい。保育のところで、何人のお子さんを何人の保育士でみるという決まりはあるのか教えていただきたい。

事務局 保育者を何人配置するという事はしている。新型コロナウイルスの関係で「保育付き講座」は現在行っていないが、今後は再開予定である。保育者の人員を増やし、安全に配慮して進めていきたい。

委員 事業企画委員会企画以外の講座が行われている館とそうでない館がある。違いを教えていただきたい。また、公民館運営審議会のほうで「提言」について毎回話し合いが行われているようだが、「提言」についての内容は公表可能かどうか教えていただきたい。

事務局 分館は基本的に事業企画委員会が企画した講座を行っている。「パソコン講座」については需要が多いため、いくつかの分館でも開催することになっている。この講座は、事業企画委員会が企画する講座ではない。中央公民館については、事業企画委員会と職員が企画した講座の2種類があるという違いもある。公民館運営審議会の「提言」については、会議録に資料として市政資料コーナーで、また、ホームページからもPDFファイルを閲覧できるようになっている。

委員 希望の講座は断トツに「防災」が一番多く、需要がある。各館で1、2回ずつ開催されていてもこれだけの需要があるということがわかる。今後、対応を何か考えているのか。また各館の講座の数については、鈴木公民館が非常に多い。理由は何か。

事務局 昨今は地震、風水害が多く見受けられることもあり、大変関心が高いものと考ええる。鈴木公民館の受講者が多い件については、毎月実施の「マンスリーミニコンサート」の人気の高い。年12回の実施で、720人を集め、他の館とは異なる特性から、人数的に際立っている。

○成人式について

委員 例年と成人式の取扱いが異なるため、現状、対象者がヤキモキする状態であると思う。成人式の出費は対象者にとって少なからぬ金額となるため、9月20日頃にウェブで公開します等、事前に市の考えを広報することで安心できるのではと考える。

事務局 市報9月20日号の公開を決めているところではあるが、可能な限り早く案内できるか検討したい。

委員 今年度実施予定の成人式について、コロナの感染状況を見ると、従来のやり方ではソーシャルディスタンス等を考えると難しいと思うが、具体的にどう行うかについては検討に入っているのか。

事務局 現時点で公表できるまでに至っていないが、キャパシティ、ソーシャルディスタンスの問題等安全に配慮して実施できるよう検討している。

○新型コロナウイルス対応関連について

委員 公民館の施設利用について、コロナの関係で利用条件、例えば館内でマスク着用、事前に検温等提示がされているが、社会情勢を見ると、仮に感染者が出た場合、謝ったり、非難されたり、マスクミに騒がれたり等している。サークルの世話役を担っている立場なのだが、参加者の意思で参加しないことは問題ない。しかしサークルの中でクラスターにはならなくても、参加者が感染したというだけで非難されたり等そのような心配をされて、万が一のことがあれば開催しなければよかったのかなという不安にとらわれてしまう。人権問題の観点から、できるだけトラブルが起きないような対策はないか、意見を伺いたい。

事務局 「不安」という言葉が出たが、実際に公民館の利用者は減少しており、利用回数以上に利用人数自体がより減少している。予約済の部屋のキャンセルの電話もかなり多く、窓口でも電話でも相談を受けている。公民館利用を再開にあたっては利用団体の方に事前に連絡し、「手洗い、マスクの着用、部屋の使用後にはアルコール消毒をしていただく」旨のお願いをした。不安を少しでも取り除くためには、こちらのお願い事項と感染予防の基本を守っていただく、これしかないのではないかと思っており、公民館の中でもそのように行っている。代表者の方が大変責任を感じているのは話を聞いてひしひしと伝わってくる。とにかく「プライバシー」「人権」といったことが十分尊重されなければいけないと考えている。今後も十分に注意しながら努めていきたいと思う。

委員 コロナ下においても『学び』は続いている。今後どのように対応していくのか、どういうふうにやっていくのが重要であると思う。ウェブを使ったミーティングのやり方の講座は人気があると思うが、この講座を受けた人がやり方を習得できるようになれば、人が集まらないようになるのではないかと思う。ウェビナーを使った一斉配信を見てもらう等、他市では既に行っているところもあると思うが、小平市としての現状と年内の目標、来年に向けてどういうふうにしていきたいという意向があれば教えていただきたい。

事務局 地域学習支援課で毎年行っているリーダー養成講座は今年度全て中止としたが、ウェブで何らかの発信ができないか、まずは取組んでみようという準備を始めたところである。

事務局 公民館全館の利用人数は前年度比で3割の利用にとどまっており、かなり減少している印象である。事業企画委員会や職員の間でも、オンラインによる講座の話が出ている。来年度に向けて準備となると、費用面、施設面等を考えなければならない。選択肢の一つと捉えている。公民館はコミュニティ施設ということで顔と顔を合わせてという必要はあるが、選択肢を増やすことにより、身体的な関係で今まで公民館に来ることが難しかった方にも講座を受けていただく可能性は

広がっていく。

事務局 図書館においても利用者、貸出状況は減少傾向である。図書館の事業において、「子ども向けのおはなし会」が多く開催されているが、開催場所の換気状況があまり良くないこともあり、今後、換気を補助するような器具を整えたり、屋外での開催を検討してみたり等、何か対策を練った上で行える方法を探っていこうと思う。

委員 社会教育施設の予約について、体育館を借りているが、コロナの感染者が市内で増えている。体育館は文化スポーツ課の所管ではあるが、教育委員会のほうからも状況を見ながら学校施設の使用の不可否をしていただきたい。地域に貸出してもらえるのは嬉しいが、学校は子供たちのものなので「感染が出ているときには学校施設は使用できません」と言ってもらえたほうが主催者側もそういう認識で落ち着くので、今後状況を見てぜひ判断をしていただきたい。

事務局 学校施設の貸出しについては、教育委員会等で調整し、判断をしている。なお、社会的な情勢を踏まえながら、全体的、総合的に判断し、当然状況が安全ではないという判断がなされた場合には、速やかに措置をとり、お伝えしていこうと思う。

○令和元年度 小平市立図書館事業統計

委員 高齢者、障がい者の介助を配慮していただき、ありがとうございます。十三小の学童クラブの「おはなし会」について、市直営の学童クラブと指定管理で行っている学童クラブがあるが、行事に違いがあるのか。子供たちが春休みなので「おはなし会」はいい取組だと思ったので。

事務局 十三小の三月の「おはなし会」について、本来は図書館で行う「おはなし会」は全て中止にしていた時期ではあったが、それとは別に学童クラブから依頼を受け、館内と違って対策がとれそうであり、実施した。今後、「おはなし会」をなんとか開催していきたいと考えているところではあるが、会場制約等で難しい側面があるため、他の場所を借りて実施する等考慮していきたい。

委員 花小金井図書館について、蔵書は少ないものの、貸出が多い。図書館は本来棚を見て探すという観点からすると、これだけの利用者がいるのであればもう少し考えていただきたい。また、「よるのおはなし会」は断トツに人気があるが、その辺の事情を教えてください。

事務局 花小金井図書館の立地の良さ、駅から近くて便利だということもあろうかと思うが、スペース的に書架や蔵書を増やすことは現状かなり厳しいところである。ただ利用が多いことと、古い本や傷んでいる本も多く見受けられるため、少しずつ入れ替えのほうも重点を置いて進めていこうと考えている。「よるのおはなし会」は開催時期が夏休みということもあり、怪談話のような内容でいつもと異なるものを開催しているため、人気があると考えている。

<その他>

特になし。